

# 令和6年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2025.2.13(木)

事業コード	24-G-13	学校名	御嵩町立上之郷小学校		住所	可児郡御嵩町宿2002
実施日	1月17日(金)13:20~15:35			受講児童生徒数	39名(6年生)	
開講職種数	3職種	指導者数	5名	参観保護者数	0名	

## 学校アンケートの結果

- 体験授業全体を通して、満足していただける内容となりましたか
  - ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
  - 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→ 本校は市街地から離れており、身近に様々な職種の方がみえません。特に今回のような、技能者の方に出会う機会はほぼありません。まずは、いろいろな職業がある、御嵩町にもこんな技能者の方がいるということを知ることができたことが、素晴らしい体験でした。小学生の時期に本物に触れる体験は人生の宝となると感じました。ぜひ、来年度もお願いしたいと思えます。

どれも大好評でした。技能者の先生方が、子供の実態に合わせて臨機応変に丁寧に指導していただけました。

【お菓子作り】同じものを作っているのですが、ほんのわずかな色の違いで、一人一人の作品となりました。

【表装】たくさんの材料を用意していただきました。個性が光る作品になりました。

【刃物】分かりやすく教えていただいたので、すぐに理解し、私たち教員に教えられるまでになっていました。どの子も作品を完成させ、誇らしげな表情をしていたことが印象的でした。ありがとうございました。

## 会場担当教員アンケートの結果（3会場の先生）

- この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか
  - ①大変よく伝わった → 

3
---
  - ②ある程度伝わった → 

--
  - ③あまり伝わらなかった → 

--
  - ④全く伝わらなかった → 

--
- 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください

→ ・教員が学校以外の職業について知っていることはあまり多くなく、実際その職業をされている方に話を聞いたり、体験することをしないと何も分からないままなので、技能者を目指すにあたり、こうした取り組みをもっと行っていくことが大切だと考えます。(菓子製造会場)

・子どもたちが「ものづくり」や本物の技能者の方と触れ合う機会は多くありません。なので、今回のように子どもたちが「ものづくり」にはどのような仕事があるのかを知り、実際に現場で働く方々はどのような思いで仕事を行っているのか等を知る機会は貴重です。このような活動を継続して設けていくことが課題だと感じます。(表装会場)

・子供たちは社会を知る機会も多くはないため、世の中のような職業があるのか、という知識が少ないのが現状です。そのため、今回のような体験学習で様々な職種に触れることは、子供たちにとって貴重な機会になったと思います。今後もより多くの職業に触れられる機会があると、子供たちにとって良い学習の場になると思います。(ハサミ(刃物)製造会場)

## 指導者アンケートの結果（3職種の各代表）

- 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか
  - ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
  - ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
  - ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
  - ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

3

- 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・子どもたちが「ものづくり」の仕事を知らないことが問題である。初めは何も知らず遊び半分の子供たちが体験授業が終わる頃には目を輝かせている光景を見ました。子どもたちは「ものづくり」の楽しさを知ったのではないかと思います。これからも、もっとたくさんの子どもたちに知ってもらいたいと思います。また、近頃円安と物価高の影響で材料費が値上がっています。少し考えていただけるとありがたいです。(菓子製造職種)

・私たちの業界は、人材不足や建物の構造の変化などで衰退していく業種の1つだと思っています。今回のものづくり体験教室を通じて、こんな仕事があって、モノづくりの楽しさ・素晴らしさを子供達に感じてもらい、まずは興味を持ってもらうことが、私たちの業種の未来に繋がる第一歩かと思っております。普段の勉強も大切ですが、子供達が将来、いろんな仕事に就くうえで、体験授業はもの凄くプラスになる授業だと思います。是非これからもモノづくり体験授業を行ってほしいと思います。(表装職種)

・この体験授業に参加させていただくにあたって、将来、児童の皆さんが自分で考えて進路を決める時には、体験授業で経験した熱中してものを作る楽しさや大変さの記憶が選択するための1つの理由になればいいと思います。

人材育成の課題として、そもそも若手人材の確保が難しい点が挙げられますが、入社したとしても継続しない点が問題に感じます。政府やテレビCMでも転職を推奨する傾向にあります。企業としては長く働いてもらいたいです。コミュニケーションと自分で考えて行動することを身に付けていかなければ仕事を継続していくことは難しく、子供の頃に体験授業のように実際に仕事をしている人と触れ合っって作業を体験することが、自分で考えてものを作り、完成させることの達成感を学べる良い機会だと思います。(ハサミ(刃物)製造職種)

## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

	菓子製造	表装	ハサミ(刃物)製造	
指導者数	1	2	2	
受講児童生徒数	13	13	13	
回答	とても満足した	13	13	
	ある程度満足した	0	0	
	あまり満足できなかった	0	0	
	満足できなかった	0	0	
	合計	13	13	13

			合計(左:人 右:%)	
指導者数			5	
受講児童生徒数			39	
回答	とても満足した		39	100.0
	ある程度満足した		0	0.0
	あまり満足できなかった		0	0.0
	満足できなかった		0	0.0
	合計		39	100

## 菓子製造会場の様子



### 先生の感想

- ・児童の身近なところから話をしてくださったことで、良い意味で緊張が解けた。
- ・見本で作ってくださるものと自分が作った和菓子を比べ、その技術力の高さに憧れをもっていた。
- ・お店で売られている和菓子は機械で作られていると思っていた子が多く、児童はみんな驚いていた。
- ・「和菓子の見方が変わった。もっとやってみたい。」「家でもやってみたい。」と全児童が言っており、体験することの大切さやその職業のプロから学ぶことの大切さについて改めて実感できた。
- ・「難しいこともあるし、お客様のニーズに応えることの難しさもあるけど、そのニーズに応えることができお客様美味しいという声や笑顔を見ることができると嬉しい。」というお話から、仕事への難しさややりがいについて児童は感じる事ができた。
- ・お話や実演がとても分かりやすく、終始笑顔で楽しみながら集中して取り組むことができました。あえて全てを教えるのではなく、実演を見ることで、児童も「どうすればあんなにも上手にできるのか。」を考えて行うことができました。自分自身も児童が興味をもち「もっとやりたい」「どうやるの?」という気持ちを引き出していけるようにもっと考えていかなければいけないと感じたし、専門性や知識の深さは児童にとつての安心感や信頼感、意欲向上などにつながることを改めて感じました。自分もそうした力をつけていけるように学び続けたいです。

### 児童生徒の感想

- ・和菓子のことがよく分かった。作るのは難しかったけど、楽しかった。
- ・和菓子を90種類ぐらい作られていることが、印象に残った。
- ・菊の花を作るとき、三角のへらで線を書くことが印象に残った。
- ・あんこを包むとき、うまく中心にあんこが来るように包めるか不安だったけど、食べるときに見てみたら上手くできていたので良かった。河田先生は、全部うまくやっていたので凄かった。
- ・いろいろな道具を使っていたし、色々なコツがあってすごいと思った。
- ・実際に作ったり聞いたりして、和菓子は何かをモチーフにして作られていることを知った。
- ・ものづくりをして最初は上手く作れるか心配でしたが、作ってみると上手くできたので良かった。
- ・三角べらというもので、菊の花びらをイメージして線を書くということが印象に残った。
- ・和菓子がどういう工程で作られているかよく分かった。機械で作っているかと思っていたので、驚きが多かった。
- ・職人さんがあんこを包むのがすごく早くて丁寧だったことが印象に残った。
- ・あんこを包むときに、少しずつ包んでいくことを教えてもらい、やってみたらとても難しいことだと分かった。
- ・和菓子を作るのは初めてだったけど、とても上手にできたので嬉しかった。

## 表装会場の様子



### 先生の感想

・子どもたちは初め表装がどのようなものか想像がしていなかったが、普段見ているアニメを用いて説明して下さったことで、表装を身近に感じることができた。また、資料や説明から表装職種の幅広さに驚いていた。

・職人さんの実演を見た際には「できそうだな」と感じていた子どもたちも、実際にやってみるとのりが全面に行き渡りづらいことや、ゴムを縛るといった単純な作業の困難さに気付くことができ、職人さんの技術の高さを感じていた。

・職人さんの支援をいただきながら難しい作業も乗り越えることができ、どの子も「ものづくり」の楽しさを味わうことができた。

・自分で和紙の組み合わせを選び、好きなデザインに仕上げることで、自分が作った物への愛着がより湧いていた。

・質疑応答では、多くのことを学ぶことができた。まず、「仕事で大切にしていることはけがをしないうこと。それは商品を汚してしまうから。」というお話から、子どもたちは自分のことよりもお客様に届ける商品が一番に考える職人としての心意気に驚いていた。次に、「お客様に喜んでいただけたときや、自分の目指していたところ以上の物ができたときの喜びがやりがいとなっている。」というお話からは、職人さんが誰かの喜びのために仕事をする姿勢や、より高みを目指す向上心を感じることができた。最後に、「マイスターとは国家資格のことで、表装職人はみんな現代の名工を目指しているが、岐阜県ではまだ現代の名工はいない。」というお話からは、一つの資格を取得してからも懸命に努力を重ねていると知ることができた。

・とても明るく楽しい雰囲気体験活動を行って下さったので、子どもたちも最後まで集中し活動することができました。講話や体験内容も充実したものであり、活動を終わると「来年もやりたい。」といった声がたくさん出ていました。特に、「常に明るくいつでも助ける」といった姿勢が子どもたちの安心感にもつながっていました。それは職人さんの確かな技術や事前の周到な準備があるからこそだと感じ、私自身もとても勉強になりました。

### 児童生徒の感想

・障子の堅さが材料(製品)によって違うということを初めて知ったのでビックリした。おじいちゃんの家に行って障子の堅さを確認してみたい。

・タペストリーを作ってみて、作るのがすごく難しいということが分かった。のりは内側から外側に塗るとい、細かいところまで丁寧にやっているのがすごいと思った。

・金子先生と水野先生から色々なことを教えていただいたので、感謝しています。

・全ての作業を覚えるのにすごい時間がかかるということを知り、すごいと思った。

・障子を破ったのがとても楽しかった。タペストリーとは別に封筒のようなものも作れて楽しかった。

・自分の好きな模様や柄が自由に決められてとても良かった。障子にも厚さや堅さが違うものもあることを初めて知った。

・タペストリーの和紙を貼るのが想像以上に難しかった。追加で小物入れをたくさん作れたので良かった。最後の障子破りはとても楽しかった。

・表装の仕事内容を全てできるようになるには、10年ぐらいかかることがとても驚いた。

・タペストリー作りで、自分自身のオリジナルなものを作れたから良かった。

・あんなに堅い障子があるなんて知らなかった。金箔をお寺の建物に貼る仕事がとても大変そうだった。聞いただけでも、よく分かった。

・すごく良い作品ができて嬉しかった。掛け軸というものも、墨で絵を描いて作ってみたい。

・実際に作っているところを見て、早いのになんかすごくキレイに完成させていて本当にすごいと思った。

・タペストリー作りはすごく難しかったのに、それよりもはるかに難しい作業をしていると聞いて、すごいと思った。

## ハサミ（刃物）製造会場の様子



### 先生の感想

- ・関市のPR動画から刃物がいかに生活の中で大切かがわかり、児童たちの刃物に対する学習意欲が高まった。
- ・岐阜県の産業が世界とつながっていることに驚いていた。
- ・刃をかしめる作業一つをとっても何度も何度も締め直し、緩めたりを繰り返しながら調節を行っていた。なかには力加減が難しく、開き具合を調整するのに時間がかかっている児童もいた。普段何気なく使っている道具の中にも職人さんの繊細な技術が詰まっていることを体験することができた。また、道具の中には使いやすくするための工夫がたくさん詰まっていることを学ぶことができた。
- ・作業工程1つ1つを丁寧に説明していただけたため、工程一つを終えるごとに変わっていく自分たちの作品に児童たちが感動する姿があった。荒い番手（紙ヤスリの目の粗さ）で傷だらけになったキーホルダーを見てショックを受けながらも番手が上がるにつれてきれいな面に仕上がっていく様子に驚いていた。自分の納得のいくものになるまで磨き続け、完成させることで職人さんのものづくりに対するこだわりを感じる事ができた。
- ・質疑応答ではどのような会社なのかを中心に質問することができた。1月で20万本以上が出荷されていることから、会社で扱うものの多さや、世界に向けて発信する市場の広さを知ることができた。また、製品を1つ作り上げるのに多くの人が関係していることを知り、モノづくりの苦労を知ることができた。
- ・体験学習が子供にとって楽しい時間になったのは、子供たちの興味関心を常に刺激し続ける工夫があったからだと思います。関市のPR動画を見てから、子供たちの緊張も解け、目を輝かせ、生き生きと取り組む姿がありました。子供たちの記憶に残る時間にするためには、そこに至るまでの準備や計画が重要だと改めて感じることでできた体験授業でした。

### 児童生徒の感想

- ・ハサミを組み立ててみて、こういう感じで組み立てるのかということが分かった。
- ・関市は、刃物の生産が全国1位だということに驚いた。
- ・ハサミを実際に組み立てられ、またキーホルダーも作れて楽しかった。
- ・たくさんの事を学べたし、刃物についてたくさん知れて良かった。関市の刃物が、生産量全国No.1ということがすごく印象に残った。
- ・キーホルダーに入れる文字をもっとたくさん彫りたかった。ハサミの切れ味に緩さなどが関係していることがよく分かった。たくさん褒めてもらえて嬉しかった。
- ・キーホルダーを作るのが難しかったけど、楽しかった。
- ・キーホルダー作り(磨く工程)をもっとやりたかった。
- ・最初に見た、刃物が無かったらの動画が面白かったし、刃物があつて良かったなと思った。
- ・キーホルダーづくりではやすりで磨けばピカピカになることを初めて知った。